

た
び

~近江八幡満喫~

1泊2日 モデルコース

先人たちの軌跡を辿る旅 歴史ロマンコース

1日目

JR安土駅 → 安土城郭資料館 → 安土城跡 → (昼食) → 県立安土城考古博物館・安土城天主信長の館 → 沙沙貴神社 → 市内宿泊地

2日目

宿泊地出発 → 池田町洋風住宅街 → 市立資料館 → 八幡堀 → 日牟禮八幡宮 → (昼食) → 水郷めぐり → 一柳記念館(ウォーリズ記念館) → 旧八幡郵便局 → ポーダレス・アートミュージアムNO-MA → JR近江八幡駅

近江の祈りのみち 古社寺巡礼コース

1日目

JR近江八幡駅 → 本願寺八幡別院 → 市立資料館 → 八幡堀 → (昼食) → 八幡山ロープウェー(村雲御所瑞龍寺) → かわらミュージアム → 西国31番札所長命寺 → 市内宿泊地

2日目

宿泊地出発 → 净嚴院 → 北川湧水 → 西の湖水郷めぐり → (昼食) → 桑實寺 → 観音寺城跡・西国32番札所観音正寺 → 教林坊 → 石寺楽市 → JR安土駅

え
え
も
ん

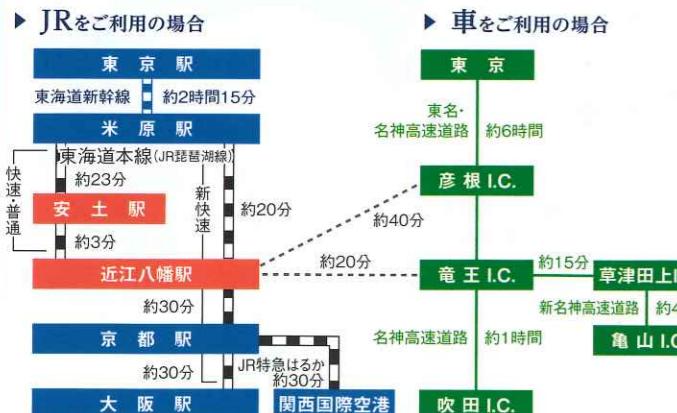
近江八幡特産品

近江八幡には、豊かな大地からの恵みや長い歴史の中で生み出された特産品が多くあります。代表的なものでは、日本の三大牛の一つに数えられる「近江牛」、織田信長ゆかりの「赤こんにゃく」、近江商人ゆかりの「丁稚羊羹」、「丁字麩」、琵琶湖の恵みの「近江米」や「湖魚佃煮」などがあります。近年は、環境こだわり品として、ヨシうどんやヨシジエラードなど、ヨシを使った食品もおすすめです。

工芸品では、奈良時代からの歴史がある「押し絵」、聖徳太子からの伝授といわれる「八幡数珠」、商人の町並みには欠かせない「八幡瓦」、「竹工芸品」、「八幡靴」のほか、水郷地帯に群生するヨシを使用したヨシ紙やスダレなど、数多くの地場産品があります。



交通アクセス (車・電車)



▶ 駐車場をご利用の場合

種別	大型(マイクロバス含む)		普通車(軽自動車含む)	
	収容台数	料金(1回)	収容台数	料金(1回)
A.市営小幡観光駐車場	11台	2,060円	83台	510円
B.多賀観光駐車場	7台(最大10台)	2,000円	43台(最大57台)	500円
C.安土城跡前駐車場	最大30台	2,060円	最大180台	510円

※営業時間 9:00~17:00(予約不可)

ま
つ
り~四季のまつり~
歳時記

4月: 沙沙貴まつり(沙沙貴神社) / 第1土曜

八幡まつり(日牟禮八幡宮) / 14・15日

14日の松明まつりでは、境内に並んだ大小さまざまな松明が奉火され、15日の太鼓まつりでは、大太鼓の宮入りが行われます。



八幡まつり(4月)

5月: 篠田の花火(篠田神社) / 4日

江戸時代に起源を持つとされる伝統花火。毎年異なる題材の花火絵が奉納され、しみじみとした感動を与えます。

足伏走馬(賀茂神社) / 6日(平日の場合、6日以降の最初の日曜)

6月: あづち信長まつり / 上旬

7月: 浅小井祇園祭(浅小井町) / 第3土曜

8月: 伊崎の棹飛び(伊崎寺) / 1日

9月: 八幡堀まつり(八幡堀周辺) / 中旬

10月: 近江源氏祭(沙沙貴神社)

11月: 教林坊紅葉ライトアップ(教林坊) / 11月中旬~12月上旬

12月: 近江八幡節句人形めぐり(市立資料館ほか) / 2月中旬~3月中旬

3月: 左義長まつり(日牟禮八幡宮) / 14・15日に近い土曜

湖国に春を告げる祭。その年の干支にちなんだ13基の左義長が2日間にわたり旧市街地を巡行し、2日目の夜に奉火されます。

あづち
信長まつり(6月)

近江八幡漫遊

近江八幡は、自然の恵みや先人たちが創り出した文化、それらを受け継ぎ今を生きる人々の営みが一つとなつて響きあう、風情輝くまちです。

~住んでよかったまち

訪ねてよかったまち

もう一度訪れたいまち



近江八幡漫遊 多言語アプリ配信中!!

「見たり・聞いたり」
「Catalog Pocket」



無料アプリ

「Catalog Pocket」

カタログはあなたの
ポケットとなり情報を
たくさん詰め込んで
旅のお供をします。

- ★ スマホ・タブレットで読める
- ★ 5言語で読める
【日・英・中(簡体)・中(繁体)・韓】
- ★ 文字サイズを調節できる
- ★ 音声読み上げもできる



iphoneの方は
Androidの方は
詳しくは
<http://www.catapoke.com/>

※このパンフレットに表記されている料金等は改訂になる場合がございます。

やうみはしまで



織田信長

天下布武を掲げ、乱世を駆け抜けた信長 国を動かした英雄はこの地を選んだ

①安土城跡



織田信長が天正4年(1576年)丹羽長秀に命じ、約6年の歳月をかけて築城し、絢爛豪華な城郭だったと伝えられる安土城。現在は、重厚な石垣や礎石が残り、国特別史跡に指定されています。

拝観料 大人700円
入山時間 9:00~17:00
(入山16:00まで、季節により異なる)

休館日 無休
TEL 0748-46-4234(安土駅前観光案内所)

②安土城天主 信長の館



1992年スペイン・セビリア万博日本館のメイン展示物として出展された、安土城天主最上部5階部分が原寸大にて内部障壁画とともに復元されています。館内には当時の安土城と城下町の姿を再現したVRシアターもあります。

入館料 大人600円、高生350円、小中学生170円
開館時間 9:00~17:00(入館16:30まで)

休館日 月(祝除く)・月が祝・振休の場合は翌日・年末年始
TEL 0748-46-6512
※安土城考古博物館との共通券あり

③滋賀県立安土城考古博物館



近江風土記の丘の一角にある西欧風の博物館。館内では弥生時代~古墳時代の生活様式を再現・展示しているほか、信長と安土城に関する資料を豊富に展示しています。

入館料(常設展) 大人450円、高生300円、小中学生無料
(企画展・特別陳列・特別展は別料金)
開館時間 9:00~17:00(入館16:30まで)

休館日 月(祝除く)・月が祝・振休の場合は翌日・年末年始
TEL 0748-46-2424
※信長の館との共通券あり

④安土城郭資料館



内部まで精巧に1/20に復元した幻の名城“安土城”が展示され、映像にて城を詳しく解説しています。安土桃山時代を描いた屏風絵風陶板壁画に囲まれ、くつろげる喫茶や土産コーナーもあります。

入館料 大人200円、高生150円、小中生100円
開館時間 9:00~17:00(入館16:30まで)
休館日 月(祝除く)・月が祝・振休の場合は翌日・年末年始
TEL 0748-46-5616

⑤淨嚴院



信長が安土城下に建立した寺院。本堂を始め七つの重要文化財を所有しています。また、天正7年(1579年)に、浄土宗と法華宗の間で“安土問答”が行われた寺として有名です。

拝観料 大人500円
開館時間 9:00~16:30(要予約)
TEL 0748-46-2242、0748-46-5435

⑥セミナリヨ跡



信長の庇護を受けたイタリア人宣教師オルガンチノによって、天正9年(1581年)に創建された日本最初のキリスト教学校推定地。安土城炎上の際に焼失し、現在は一部が公園として整備されています。

万葉ロマンに誘われ、いにしえより変わらぬ信仰の地を巡る

㉗桑實寺



西国薬師霊場第46番札所。天智天皇の勅願により創建。初代定惠和尚が唐から桑の実を持ち帰り、日本で最初に養蚕を始めたことが寺名の由来といわれています。本堂と「桑實寺縁起絵巻」は、重要文化財に指定されています。

入山料 大人300円、小人150円
入山時間 9:00~17:00(12月~2月 16:30まで)
TEL 0748-46-2560、0748-46-4025

㉙賀茂神社



約1300年前、全国初の国営放牧場が建設された地に、天平8年(736年)、聖武天皇により、創建。馬の聖地として名高く、吉備眞備ゆかりの神社です。安産・子授・縁結の靈験。5月の賀茂祭で行われる「足伏走馬」は、宮中の競馬行事を今に伝える、千年以上の歴史をもつ由緒ある神事です。

TEL 0748-33-0123

㉘老蘇森 奥石神社



老蘇の森は、万葉の昔から歌に詠まれてきた名高い森で、国の史跡にも指定されています。森の中には、織山(観音寺山)をご神体とした安産延寿・狩猟・農耕の神様である奥石神社があり、本殿は、重要文化財に指定されています。

TEL 0748-46-2481

㉚沙沙貴神社



古代の豪族、狭狭城山君の氏神とされ、平安時代中期以降は、近江源氏佐々木氏の氏神として崇拝されました。本殿をはじめ八棟の県指定文化財を所有し、境内を彩る四季折々の花々が美しく、4月の沙沙貴まつりなど有名です。

TEL 0748-46-3564

ひとえは 思ひ出にかけ ほととぎす
老蘇の森の 夜半のむかしを
(紀伊守範光/平家物語)

身のよそに いつまでか見ん 東路の
老蘇の森に ふれる白雪

(賀茂真淵)

夜半ならば 老蘇の森の 郭公
今もなかまし 忍び音のころ

(本居宣長)

㉛岩戸山十三仏



箕作山の南端の大岩に、聖徳太子が刻んだとされる十三体の仏像が安置されています。毎年4月には千日会が行われ、信仰厚い人々で賑わいます。頂上からの眺めは絶景です。

TEL 0748-46-4234(安土駅前観光案内所)

近江八幡を深く愛したヴォーリズ、その軌跡と精神が息づくまち

ウイリアム・メレル・ヴォーリズ / 日本名 一柳米来留(1880~1964)

和の文化が色濃く残る近江八幡ですが、まちの中には異国情緒ある洋風建築が数多くあります。それらの建築の設計を手がけたのが、ウイリアム・メレル・ヴォーリズであり、明治38年、滋賀県立商業学校(現八幡商業高校)に英語教師として来日しました。来日後、熱心なキリスト教伝道活動を行うとともに、「建物の風格は、人間と同じくその外見よりもむしろその内容にある」との信条で、全国で約1600に及ぶ建築設計に携わりました。

メンソーラーム(現メンターム)を日本に輸入した人物でもあり、当時不治の病として恐れられた結核治療を目的とした近江サナトリアム(現ヴォーリズ記念病院)の建設、さらには、市内の子どもたちの教育の場として、図書館や近江兄弟社学園の設立など、多岐にわたる社会貢献事業を展開しました。「近江八幡は世界の中心」との思いで、近江八幡のまちを深く愛したヴォーリズの軌跡と精神は、今もこの地で生き続けています。

㉗一柳記念館(通称ヴォーリズ記念館)



かつてのヴォーリズ夫妻宅であり、彼らゆかりの品々を展示。事前に要電話予約。

入館料 無料
開館時間 内部見学は事前に要電話予約
休館日 月・祝・その他不定休
(12/1~1/15まで展示入替のため休館)
TEL 0748-32-2456

㉘旧八幡郵便局



大正期のヴォーリズ建築の一つ。現在、NPO法人ヴォーリズ建築保存再生運動「一粒の会」の事務所として使用され、内部見学可。

TEL 0748-33-6521

㉙池田町洋風住宅街



アメリカの開拓時代を象徴するコロニアルスタイルで、レンガ堀・高い煙突・広々とした庭等が特徴。見学は外観のみ。

開館時間 10:00~16:00
休館日 月曜日(祝日の場合は開館)、
祝日の翌日、年末年始
TEL 0748-46-6324

㉚旧伊庭家住宅



大正2年建築の和洋式木造住宅。住友財閥2代目総理である伊庭貞剛の四男慎吉の邸宅として建てられました。

開館時間 10:00~16:00
休館日 月曜日(祝日の場合は開館)、
祝日の翌日、年末年始
TEL 0748-33-0031

やうみはしまで



う
ヴォーリズ・メレル!

随筆家 白洲正子が愛した近江、「かくれ里」「近江山河抄」ゆかりの古刹を訪ねて

白洲 正子 (1910~1998)

近江をこよなく愛し、その豊かで繊細な感性のもと筆を走らせた随筆家

白洲正子は、明治43年(1910年)、樺山愛輔の次女として生を受けます。史上初めて女性として能舞台に立ち、小林秀雄や青山二郎といった一流文化人と交流しながら、日本文化に関する随筆を多く手かけました。自ら各地を旅し、その土地に息づく自然や文化の持つ美しさを、豊かで繊細な感性で文章につづり、今なお多くの人々を惹きつけています。

㉚長命寺



西国31番札所。寺伝によると、約1800年前、景行天皇時代に活躍した武内宿禰が本山で長寿を願ったところ、300歳以上の寿命を得たといわれ、その後、聖徳太子により長命寺と名づけられたとされています。

TEL 0748-2549
入山料 500円(内陣/拝観料300円)
林道 600円

㉛觀音正寺



西国32番札所。605年、人魚の哀願により、聖徳太子が建立したと伝えられています。インドの白檀を使用した高さ7mの千手千眼觀世音菩薩像が安置されています。

TEL 0748-2549
入山料 500円(内陣/拝観料300円)
林道 600円

㉜觀音寺城跡



織山(觀音寺山)の山中には、中世に近江を支配した佐々木六角氏の居城、觀音寺城跡があります。全山を城域とする山城としては日本最大の規模を誇る遺構で、國の史跡にも指定されています。現在も石垣や礎石が残り、日本百名城の一つです。

TEL 0748-46-5400

㉝教林坊



聖徳太子創建の古刹。巨石を配し苔むした名勝庭園は、小堀遠州の作と伝えられ、桃山時代の侘びさびの清雅な趣があります。紅葉の名所、白洲正子の「かくれ里」、近年は映画やドラマのロケ地で知られます。

TEL 0748-46-5400
※通常、土日祝のみ拝観可能。11月1日~12月15日は平日も拝観可能。駐車場普通車(70台、バス6台)

白洲正子と近江のかくれ里

はち
八幡商人

売り手よし、買い手よし、世間よし 三方よしの精神を受け継ぐ近江商人のふるさと

⑯市立資料館・旧伴家住宅
(八幡教育会館)



郷土資料館・歴史民俗資料館・旧西川家住宅(重要文化財)・旧伴家住宅(八幡教育会館)。近江商人の質素・儉約・質実剛健な暮らしぶりを肌で感じることができます。

入館料 大人900円、小人500円(4館共通)
開館時間 9:00~16:30(入館16:00まで)
休館日 月(祝除く)・祝翌日(土日祝除く)・年末年始
※観光シーズンは休館日なしの場合あり
TEL 0748-32-7048(市立資料館)
TEL 0748-32-1877(旧伴家住宅)

⑰日牟禮八幡宮



近江商人の守護神として、千余年の歴史を誇る神社であり、人々の厚い信仰と加護により繁栄し続け、今日に至ります。かつて若干20歳でベトナムに渡り、海外貿易で名を馳せた近江商人 西村太郎右衛門が寄進した「安南渡海船額」をはじめ、多くの重要な文化財が納められています。3月に左義長まつり、4月に八幡まつりが開催される神社としても有名です。

入館料 無料
開館時間 9:00~17:00 休館日 年末年始
TEL 0748-32-7003

㉑かわらミュージアム



国内でも珍しい瓦専門の展示館。近江八幡の地場産業である八幡瓦を中心に世界の瓦などを紹介。ミュージアムそのものに瓦の魅力が活かされ、起きある建物となっています。瓦粘土を使った体験教室(要予約)も開催しています。

入館料 大人300円、小人200円
開館時間 9:00~17:00(入館16:30まで)
休館日 月(祝除く)・祝翌日(土日祝除く)・年末年始
※観光シーズンは休館日なしの場合あり
TEL 0748-33-8567

㉒ボーダレス・アートミュージアム NO-MA



重要伝統的建造物群保存地区にあるミュージアム。昭和初期に建てられた近江商人の一人、野間清六の分家を改築し、平成16年に開館。独創的な展覧会や取り組みは国内外から注目されています。

入館料 企画展によって異なる
開館時間 11:00~17:00
休館日 月(祝の場合は翌火休)・展示入替時・年末年始
TEL 0748-36-5018

㉓曳山とイ草の館



近江商人が取り扱った代表的産物「畠表」の製作道具やその材料となるイ草の栽培方法等が展示・紹介されています。館内には、毎年、7月の第3土曜日に開催される浅小井祇園まつり(曳山まつり)で巡回する曳山(6基)も展示されています。イ草・湧水・まちづくりをテーマとした資料館です。

入館料 大人300円、小人150円(小中高)
開館時間 10:00~17:00
TEL 0748-33-0559

人、物行き交う 中山道、朝鮮人街道

㉔近江中山道 武佐宿



江戸時代、人と物資が盛んに往来し賑わった宿場町。虫子窓や格子を巡らせた古い家並みと辻に残る石の道標が、当時の名残を留めています。かつて、武佐宿、武佐墨等の特産品があったと伝えられ、当地で発見された名づけられた武者竜胆があります。

江戸時代、五街道の一つに数えられた中山道

伊庭 貞剛 (1847~1926) 住友財閥を育て100年前に環境問題を考えた実業家



©伊庭貞剛(近江八幡市勢要観より抜粋)

弘化4年(1847年)、現在の近江八幡市西宿町に生まれ育ちました。22歳で司法官に任命され各地で活躍しますが、官界に失望し十年で退職。故郷に帰る挨拶に叔父の広瀬宰平(住友初代総理事)を訪ねた際に誘われ、住友に入社。当時、住友は労使対立や別子銅山が抱える公害問題等の対応に苦慮していましたが、貞剛の粘り強い努力により解決へと向かいます。特に公害問題への取組みは、足尾銅山問題に奔走した田中正造も絶賛しました。

後に、住友第二代総理事に就任し、現在の三井住友銀行・住友金属・住友電工・住友軽金属等を設立し、住友グループの基盤を築きました。明治23年には第1回帝国議会の衆議院議員として当選し、その後、若い世代に将来を託し、4年で総理事を退任、大正15年(1926年)に79歳で永眠しました。貞剛の生家跡は、当時からある楠の大木を象徴とした「いばらecoひろば」として整備され、人々の安らぎの場となっています。

㉕本願寺八幡別院



市内唯一の大寺院。関が原の合戦で勝利を収めた徳川家康の上洛の際に宿泊場所となりました。八幡商人は、大坂の陣で家康を助けたとされ、家康にとっても思い入れのある土地であったと思われます。また、朝鮮通信使の休憩場所や食事場所としても使用され、侍従官 李南園の詞書が残されています。

TEL 0748-33-2466

朝鮮から江戸へ
日朝友好の道、朝鮮人街道

江戸時代、日本は鎖国にありながら、朝鮮と琉球は、信を通わす外交のある国「通信の国」とし、中国とオランダは、貿易船の来航を認める「通商の国」として、国交がありました。豊臣秀吉の朝鮮侵略以後、関係が断絶していた朝鮮半島との国交回復を願った徳川家康は、対馬藩を通じて朝鮮へ幾度と使者を送り、関係回復に努めます。慶長12年(1607年)、正式に使節を迎えることとなり、以後、文化8年(1811年)までの間、計12回の通信使が日本を訪れました。その朝鮮からの使節「朝鮮通信使」が江戸まで通った道が「朝鮮人街道」と呼ばれ、今もその名を残しています。

朝鮮人街道の起りは、織田信長が安土城築城の際に、京都までの道を結んだことによるとされます。中山道の「上街道」に対し、「下街道」と呼ばれたほか、琵琶湖岸を走ることから「浜街道」とも呼ばれました。朝鮮通信使は、文化使節的な面も持ち、学者や文人、画家や書道家達も同行するなど、当時の日本文化に大きな刺激を与えたと思われます。

みはちまんぼり
み 水のさと

豊かな水と緑に恵まれ、水とともに生きるまち

㉖八幡堀

近江八幡のまちが発展した理由はいくつかありますが、八幡堀の役割を欠かすことはできません。堀は城を防御するために存在しますが、豊臣秀次は、この八幡堀を運河として利用することを考え、琵琶湖を往来する船をすべて八幡の町に寄港させました。また、八幡山城下はかつての安土と同じく、楽市楽座を取り入れたことから、商人の町として大いに活気づきました。

多くの商人が八幡の町から全国へと旅立ち、近江商人として活躍した原動力となった八幡堀も、昭和30年頃になると高度経済成長期に入り、人々の生活は変化し、次第に市民の関心も薄らいできました。やがて、八幡堀はドブ川のようになり、埋め立ての計画も持ち上がりります。しかし、「八幡堀は埋めた瞬間から後悔が始まる」の合言葉により、市民が立ち上がり、清掃活動に取組みました。その結果、次第にかつての姿を取り戻すようになり、今日でも各種団体による清掃活動が続けられています。

現在、写真や絵画の愛好家などが数多く訪れ、時代劇のロケ地としても頻繁に活用されるなど、市民の憩いの場であり、近江八幡の代表的観光地に位置づけられています。



春の八幡堀



口ヶ風景

昭和40年代後半(明治橋からの風景)



現在の八幡堀(同風景)



村雲御所瑞龍寺の開山は、高野山で自害させられた豊臣秀次の菩提を弔うため、生母の瑞龍院日秀尼公が、文禄5年(1596年)、京都の村雲に創建。昭和36年に八幡山に移築され、山頂からは、安土山や琵琶湖、水郷地帯の眺望が楽しめます。

TEL 0748-32-3323

㉗沖島



沖島全景

㉘宮ヶ浜水泳場



環境省がまとめた「日本の水浴場88選」の一つ。水際まで芝生があり、遠浅のビーチ付近一帯はプレジャーボート乗入禁止区域であり、子ども連れでも安心です。

㉙北川湧水



室町時代、常楽寺港として栄えたこの地区には、数多くの湧水が当時の姿を残しながら流れています。

㉚常浜水辺公園



室町時代、觀音寺城の外港で港町として栄えた常浜。昭和初期まで琵琶湖を周遊する蒸気船の寄港地として活気にあふれ、現在は公園として整備され、市民の憩いの場となっています。別名「錠の橋」とも言われています。

㉛梅の川



かつて西の湖にそそいだ湧水の一つ。信長の家臣である武井夕庵がこの水で点じた茶を献上したところ、信長が大変気に入り、この地で梅の川の水を用いたと伝えられています。

水郷の四季にヨシの薰りと、水面をわたる風を感じて

㉕水郷

西の湖を中心とした水郷地帯は、「春色 安土八幡の水郷」として琵琶湖八景の一つに数えられ、群生するヨシの中をカイツブリやヨシキリなどのさえずりとともに楽しめる水郷めぐり。春夏秋冬の情緒を五感で味わうことができ、都会の喧騒を忘れてのんびりとしたひとときを過ごせると、多くの人に喜ばれています。

近年では、ヨシが果たす水質浄化や生態系の面からもその重要性が注目され、平成18年1月、当地域は全国初の重要文化的景観に選ばされました。平成20年10月に、ラムサール条約湿地として西の湖と長命寺川が登録され、平成21年1月には、「白王・円山」が日本の里100選に選ばれるなど、その貴重な水環境は国内外から高く評価されています。日本の原風景ともいえるこの雄大な自然は、「日本一の水郷」として、人々の心にふるさとの温かさをもたらし、癒しの世界へと誘います。



春



夏



秋



冬

水郷めぐり

I 八幡堀周辺



豊臣秀次

豊臣秀吉の嫡ともいわれる長男で秀吉の養子。信長死後、秀次は八幡堀を掘削して湖上交通の要衝として安土や近郷の住民を八幡山城下に集め、楽市楽座制を入れて商業都市としての礎を築きました。後に、開白職を継ぎましたが、秀吉に秀頼が生まれたことにより、謀反の罪をせられ、自害されました。彼の手がけたまちづくり精神は今日まで引き継がれ、NPO法人秀次偶楽部などの団体により顕彰され、八幡開町の祖として慕われています。



II 安土駅前周辺



観光ボランティアガイド

2名様以上のグループで5日前までにお申込みいただきますと市内をガイドいたします。
(交通費としてガイド1名につき1,000円ご負担願います。)

お申込みは…

近江八幡駅北口観光案内所
TEL 0748-33-6061
安土駅前観光案内所
TEL 0748-46-4234

③滋賀県立安土城考古博物館



⑥近江八幡和船観光協同組合



⑦休暇村 近江八幡



⑧安土駅前レンタサイクル たかしま



⑨文芸の郷レストラン



⑩安土観光レンタサイクル(ふかお)

